

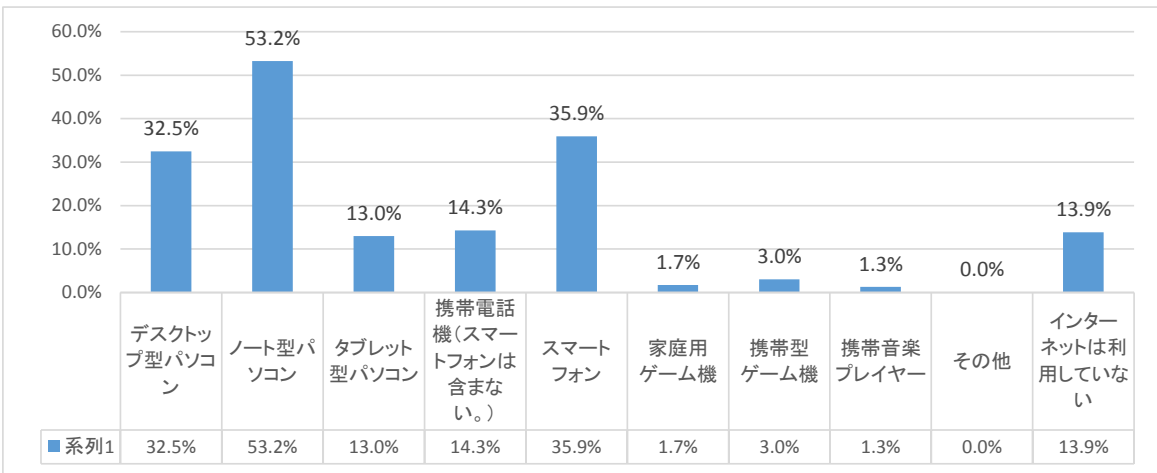
サイバー犯罪に対する意識調査について 調査集計結果

調査期間
回答率

H26.10.17 ~ H26.10.31
90.9% 回答者数 231人

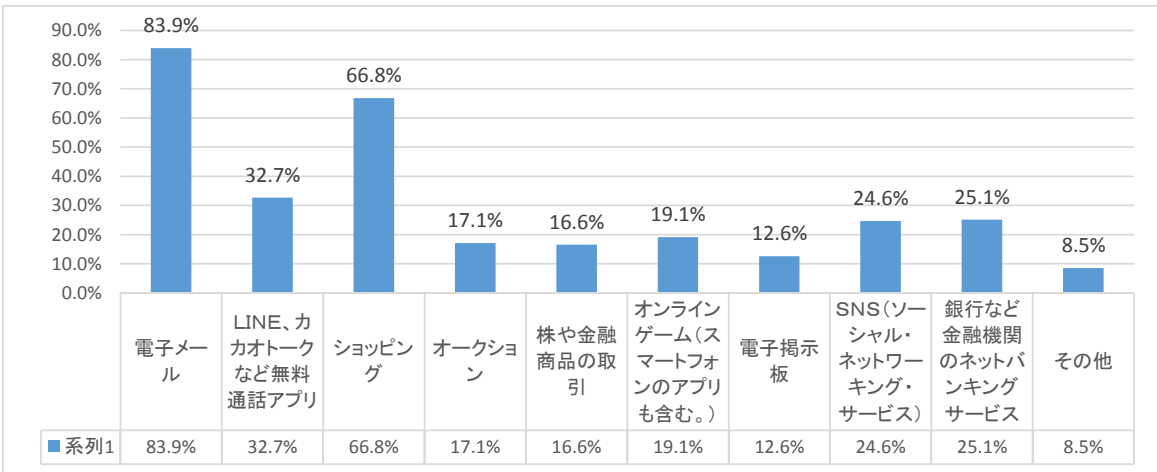
問1 あなたがインターネットを使うとき、利用している機器は何ですか。この中からいくつでもあげてください。

選択肢	回答者数: 231人	
	回答者数	構成比
デスクトップ型パソコン	75	32.5%
ノート型パソコン	123	53.2%
タブレット型パソコン	30	13.0%
携帯電話機(スマートフォンは含まない。)	33	14.3%
スマートフォン	83	35.9%
家庭用ゲーム機	4	1.7%
携帯型ゲーム機	7	3.0%
携帯音楽プレイヤー	3	1.3%
その他	0	0.0%
インターネットは利用していない	32	13.9%



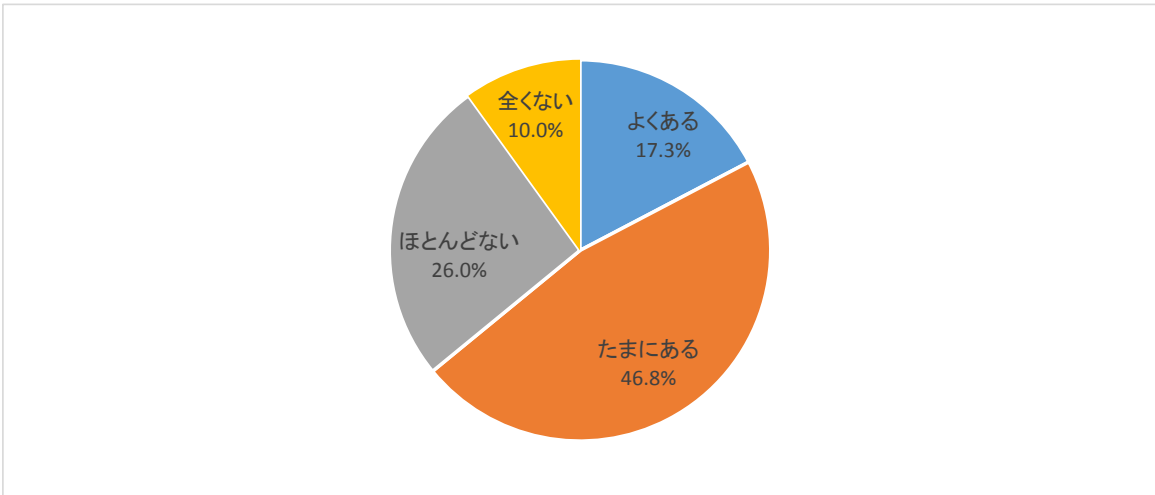
問2 インターネットを利用している方にお伺いします。インターネットでどのようなサービスを利用していますか。この中からいくつでもあげてください。

選択肢	回答者数: 199人	
	回答者数	構成比
電子メール	167	83.9%
LINE、カカオトークなど無料通話アプリ	65	32.7%
ショッピング	133	66.8%
オークション	34	17.1%
株や金融商品の取引	33	16.6%
オンラインゲーム(スマートフォンのアプリも含む。)	38	19.1%
電子掲示板	25	12.6%
SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	49	24.6%
銀行など金融機関のネットバンキングサービス	50	25.1%
その他	17	8.5%



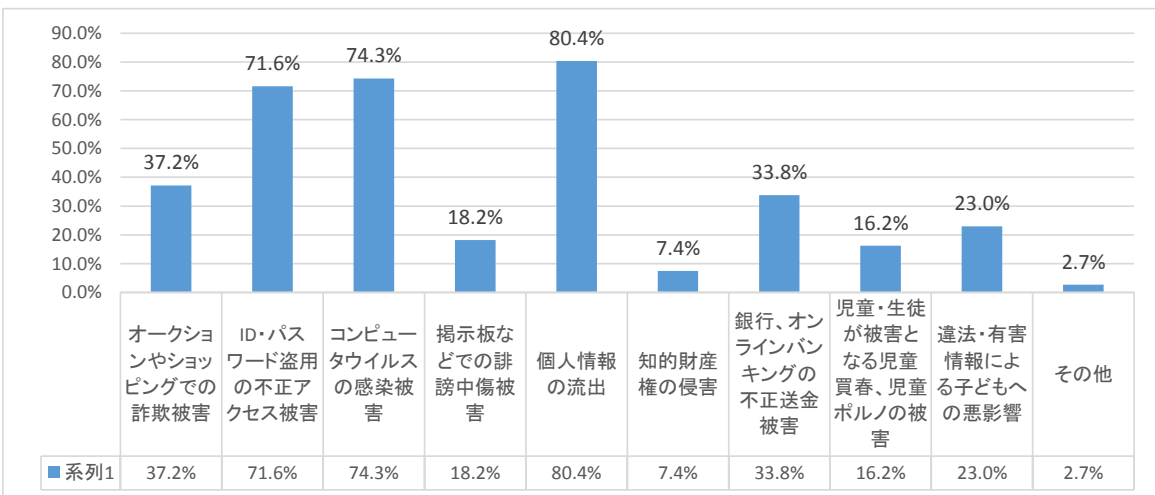
問3 全員の方にお伺いします。日頃、サイバー犯罪（インターネットを利用した犯罪等）の被害に遭いそうで、不安に感じることがありますか。この中から1つだけお答えください。

選択肢	回答者数	構成比
よくある	40	17.3%
たまにある	108	46.8%
ほとんどない	60	26.0%
全くない	23	10.0%
計	231	100.0%



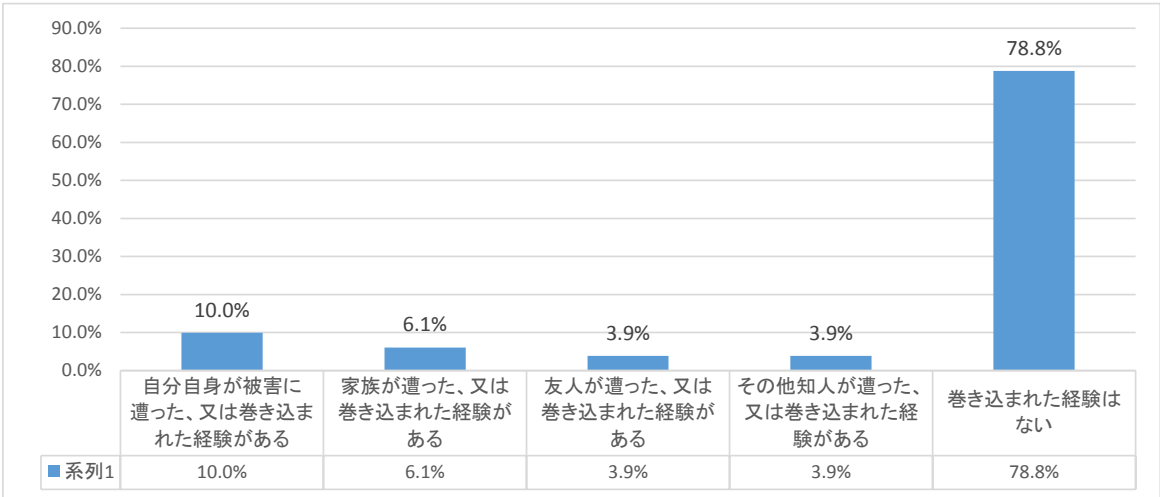
問4 問3で「1 よくある」「2 たまにある」と答えた方にお聞きます。そう感じることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。

選択肢	回答者数：148人	
	回答者数	構成比
オークションやショッピングでの詐欺被害	55	37.2%
ID・パスワード盗用の不正アクセス被害	106	71.6%
コンピュータウイルスの感染被害	110	74.3%
掲示板などでの誹謗中傷被害	27	18.2%
個人情報の流出	119	80.4%
知的財産権の侵害	11	7.4%
銀行、オンラインバンキングの不正送金被害	50	33.8%
児童・生徒が被害となる児童買春、児童ポルノの被害	24	16.2%
違法・有害情報による子どもへの悪影響	34	23.0%
その他	4	2.7%



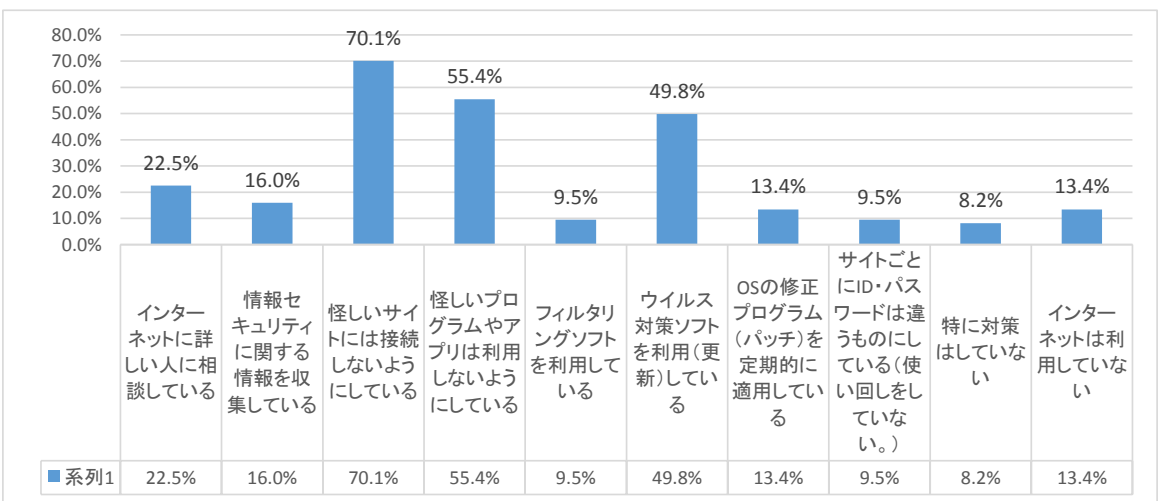
問5 以下、全員の方にお伺いします。これまでに、あなたやあなたの家族、友人等が、サイバー犯罪の被害に遭われたり、トラブルに巻き込まれた経験はありますか。この中からいくつでもあげてく

選択肢	回答者数: 231人	
	回答者数	構成比
自分自身が被害に遭った、又は巻き込まれた経験がある	23	10.0%
家族が遭った、又は巻き込まれた経験がある	14	6.1%
友人が遭った、又は巻き込まれた経験がある	9	3.9%
その他知人が遭った、又は巻き込まれた経験がある	9	3.9%
巻き込まれた経験はない	182	78.8%



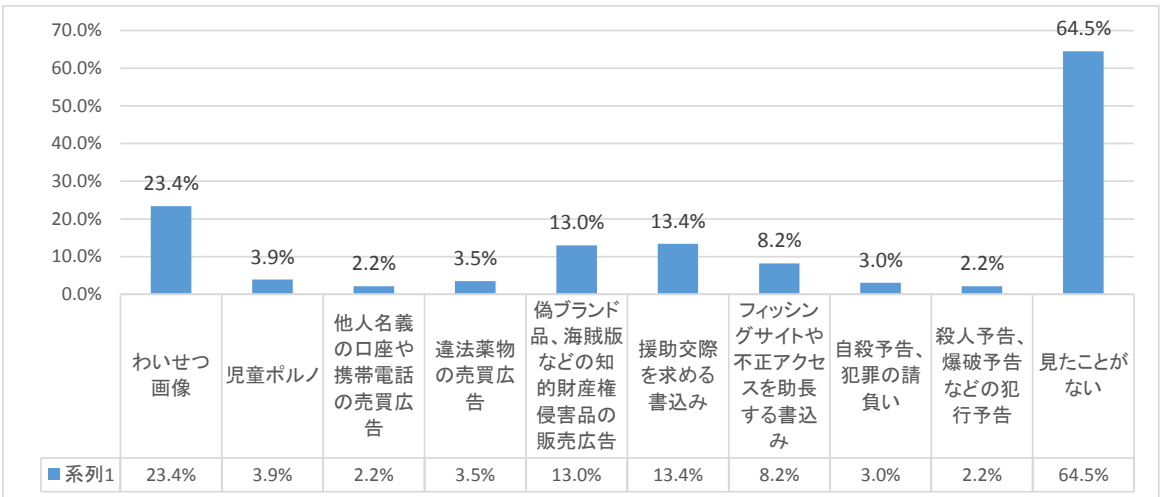
問6 サイバー犯罪の被害に遭わないために、どのような対策を行っていますか。この中からいくつでもあげてください。

選択肢	回答者数: 231人	
	回答者数	構成比
インターネットに詳しい人に相談している	52	22.5%
情報セキュリティに関する情報を収集している	37	16.0%
怪しいサイトには接続しないようにしている	162	70.1%
怪しいプログラムやアプリは利用しないようにしている	128	55.4%
フィルタリングソフトを利用している	22	9.5%
ウイルス対策ソフトを利用(更新)している	115	49.8%
OSの修正プログラム(パッチ)を定期的に適用している	31	13.4%
サイトごとにID・パスワードは違うものにしていない(使い回しをしていない。)	22	9.5%
特に対策はしていない	19	8.2%
インターネットは利用していない	31	13.4%



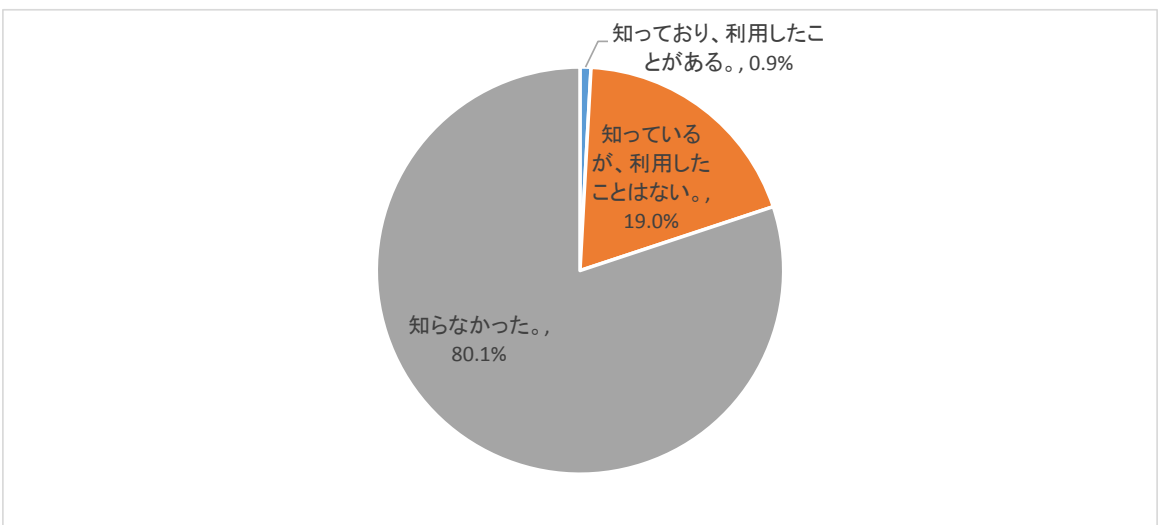
問7 インターネット上で、次のようなサイトや情報を見たことがありますか。この中からいくつでもあげてください。

選択肢	回答者数: 231人	
	回答者数	構成比
わいせつ画像	54	23.4%
児童ポルノ	9	3.9%
他人名義の口座や携帯電話の売買広告	5	2.2%
違法薬物の売買広告	8	3.5%
偽ブランド品、海賊版などの知的財産権侵害品の販売広告	30	13.0%
援助交際を求める書込み	31	13.4%
フィッシングサイトや不正アクセスを助長する書込み	19	8.2%
自殺予告、犯罪の請負い	7	3.0%
殺人予告、爆破予告などの犯行予告	5	2.2%
見たことがない	149	64.5%



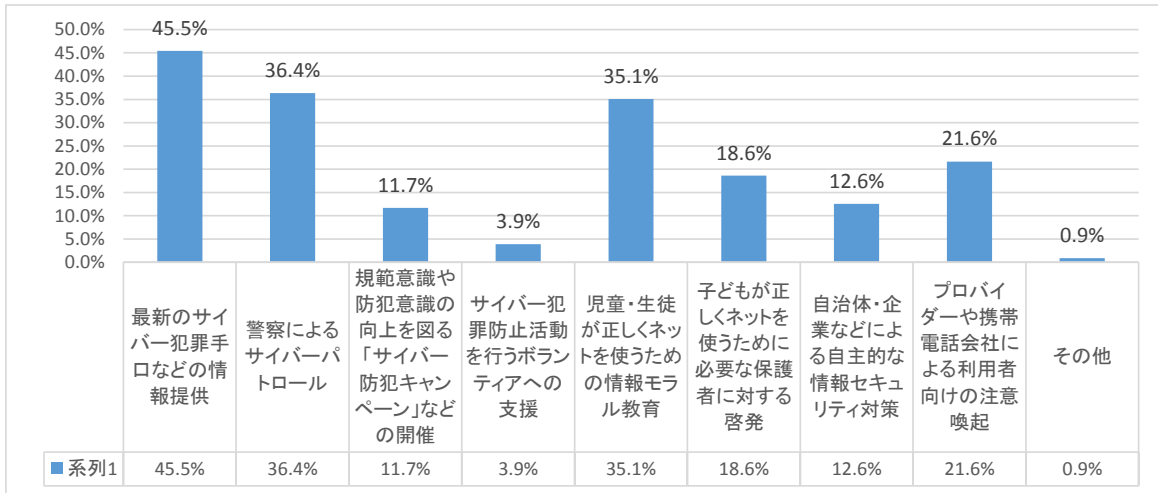
問8 みなさんからの違法情報、有害情報に関する通報を受け、警察への通知、プロバイダーやサイト管理者に対して違法情報の削除依頼を行っている、「インターネット・ホットラインセンター」を知っていますか。この中から1つだけお答えください。

選択肢	回答者数	構成比
知っており、利用したことがある。	2	0.9%
知っているが、利用したことはない。	44	19.0%
知らなかった。	185	80.1%
計	231	100.0%



問9 サイバー犯罪を防ぐため、もっと強化すべき対策は何だと思えますか。この中から2つまであげてください。(1つでも可)

選択肢	回答者数: 231人	
	回答者数	構成比
最新のサイバー犯罪手口などの情報提供	105	45.5%
警察によるサイバーパトロール	84	36.4%
規範意識や防犯意識の向上を図る「サイバー防犯キャンペーン」などの開催	27	11.7%
サイバー犯罪防止活動を行うボランティアへの支援	9	3.9%
児童・生徒が正しくネットを使うための情報モラル教育	81	35.1%
子どもが正しくネットを使うために必要な保護者に対する啓発	43	18.6%
自治体・企業などによる自主的な情報セキュリティ対策	29	12.6%
プロバイダーや携帯電話会社による利用者向けの注意喚起	50	21.6%
その他	2	0.9%



問10 県警では、安全で安心なサイバー空間の構築のため、サイバー防犯ボランティア（インターネット上で見つけた違法・有害情報の通報や、警察と協力して児童、保護者等への啓発活動をしていただく方々）とともに各種活動を行っています。こうしたボランティアに参加してみたいと思いませんか。この中から1つだけお答えください。

選択肢	回答者数	構成比
参加したい。	12	5.2%
自分の出来る範囲で参加したい。	121	52.4%
参加できない。	98	42.4%
計	231	100.0%

